



札幌証券取引所主催
個人投資家向け会社説明会
会社説明資料

証券コード2428

ウェルネット株式会社

2023年2月21日



1

**安全・安心・快適・便利を
最大効率で実現する。**

2

**社員に自身の可能性を試す
フィールドを提供する。**

創業：1983年、1996年新規事業開発会社として社名変更・再スタート(実質的創業)

本店：札幌本社 **営業拠点**：東京本社 **従業員**：約130名

上場市場：東証一部/現プライム、札証（2428）

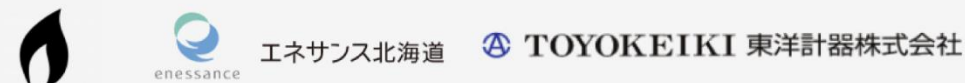
- 1998年** 航空大手三社（JAL・ANA・JAS）導入
- 2001年** 都市間高速バスチケットコンビニ発券
- 2002年** ケータイチケット（日本武道館13,000人コンサート）
- 2003年** 飛行機搭乗用QRコード発行
- 2008年** Jリーグ・札幌ドーム電子チケット
- 2012年** 「送金サービス」ネットde受け取り（SMBC共同開発）
- 2013年** 「送金サービス」コンビニ現金受け取り
- 2016年** 「バスもり！」開始（スマホ電子チケットサービス）
- 2017年** スマホ決済サービス「支払秘書」開始
- 2020年** Maasシステム(函館dohna、仙台MaaS、オホナビ・・・)
- 2021年** 札幌本社完成、本店移転、ekaiin.com開始

マルチペイメントサービス ~1ストップ決済サービス~

コンビニ	LAWSON	FamilyMart	Seicomart	Daily YAMAZAKI	ヤマザキ ディーリーストア	MINI STOP	7 ELEVEN										
銀行ATM	みずほ銀行	りそな銀行	関西みらい銀行	熊本銀行	三菱東京UFJ銀行	千葉銀行	福岡銀行	広島銀行	三井住友銀行	横浜銀行	TOWA 東和銀行	親和銀行	ゆうちょ銀行	埼玉りそな銀行	京葉銀行	77七十七銀行	NANTO 南都銀行
ネットバンク	pay-easy	住信SBIネット銀行	Rakuten 楽天銀行	au じぶん銀行	PayPay 銀行												
クレジットカード	VISA	MasterCard	JCB	AMERICAN EXPRESS	Diners Club INTERNATIONAL												
電子マネー	WALLET	Edy	モバイル Suica	PayPay													

主要取引先実績

※敬称略・一部は採用時の名称、ロゴを使用しています



1 キャッシュレス・ペーパーレス化対応

(支払秘書<電子マネー> + 電子請求 + 電子決済)

2 決済 + αプラットフォーム / 組込み型電子マネー推進

3 交通事業者向けDX化推進・MaaSクラウドサービス

4 地域密着フィンテック

5 地域貢献

中期経営計画（～2025/6月期）目標



単位：千円	2022年6月期	2023年6月期	2025年6月期	対2022年6月期 伸長率
売上	8,950,177	9,300,000	13,600,000	150%
経常利益	754,589	860,000	1,500,000	200%
純利益	532,228	600,000	1,000,000	190%

単位：円	2022年6月期	2023年6月期	2025年6月期	対2022年6月期 伸長率
EPS	28.25円	32円	53円	190%
配当性向	50%	50%	50%	-
一株あたり配当額	14.13円	16円	27円	190%

2023年6月期2Q（2022/12月期） 営業成績



単位：億円	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前期2Q	4,452	385	386	282
対前年同期 伸長率	-2.1%	+14.4%	+8.2%	+14.2%
今期2Q	4,920	562	561	444
対前年同期 伸長率	+10.5%	+46.2%	+45.3%	+57.6%
今期進捗率	52.9%	—	65.3%	74.1%

✓ポストコロナ = 交通関係回復局面へ

✓対前年営業利益率 8.7%→11.4% (32%up)

■付加価値が高いソリューション（決済プラスαサービス）収益化

1. バスもり！（スマホチケット・・・定期券、回数券）
2. アルタイル（企画券などバスチケット＋αクラウドサービス）



3. E-kaiin（会員管理、決済、収納金配布）

■送金サービス活性化（返金・インセンティブ・・・）

■バスチケットコンビニ発券が当社一社体制に

■低利益率事業者伸び率低下or減少加速・交通系回復

■コンビニ側決済値上げに伴う対事業者側手数料値上げ

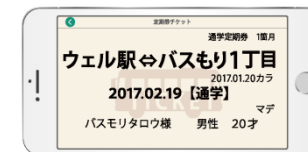
バスもり！スマホチケット(2016年8月リリース) 【幹事会社のみ記載】



- JRバス関東
- JRバス東北
- 西日本JRバス
- JR四国バス
- 京浜急行バス
- 奈良交通
- 中国バス
- 下津井電鉄
- 南海バス
- 近鉄バス
- 加越能バス
- 京王電鉄バス
- 東北急行
- 防長交通
- とさでん交通
- 西東京バス
- 関東鉄道
- 四国高速バス
- 関東バス
- 千曲バス
- 日本中央バス
- 高松エクスプレス
- 羽後交通
- 西武バス
- 岩手県北自動車
- 伊予鉄バス
- 神姫バス
- アルピコ交通
- 北海道中央バス
- 名鉄バス
- 関東自動車
- 福島交通
- 北陸鉄道
- 大阪バス
- 他

導入路線数：240路線

バスもり！スマホ定期(2017年3月リリース)



- JR北海道(鉄道)
- JRバス関東
- 東急バス
- 長野電鉄
- 他
- JR北海道バス
- JRバス東北
- 京浜急行バス

導入路線数：233路線

バスもり！電子もぎり(2018年1月リリース)



- 北海道中央バス(空港連絡バス)
- 西鉄バス/九州産交(回数券)
- 名鉄バス(回数券)
- JRバス関東(回数券) 他

導入路線数：59路線

バスもり！MONTA(2016年リリース)



- 京王バス
- 山梨交通
- 長電バス
- アルピコ交通
- 東急トランセ
- 岩手県北バス

導入路線数：約20路線

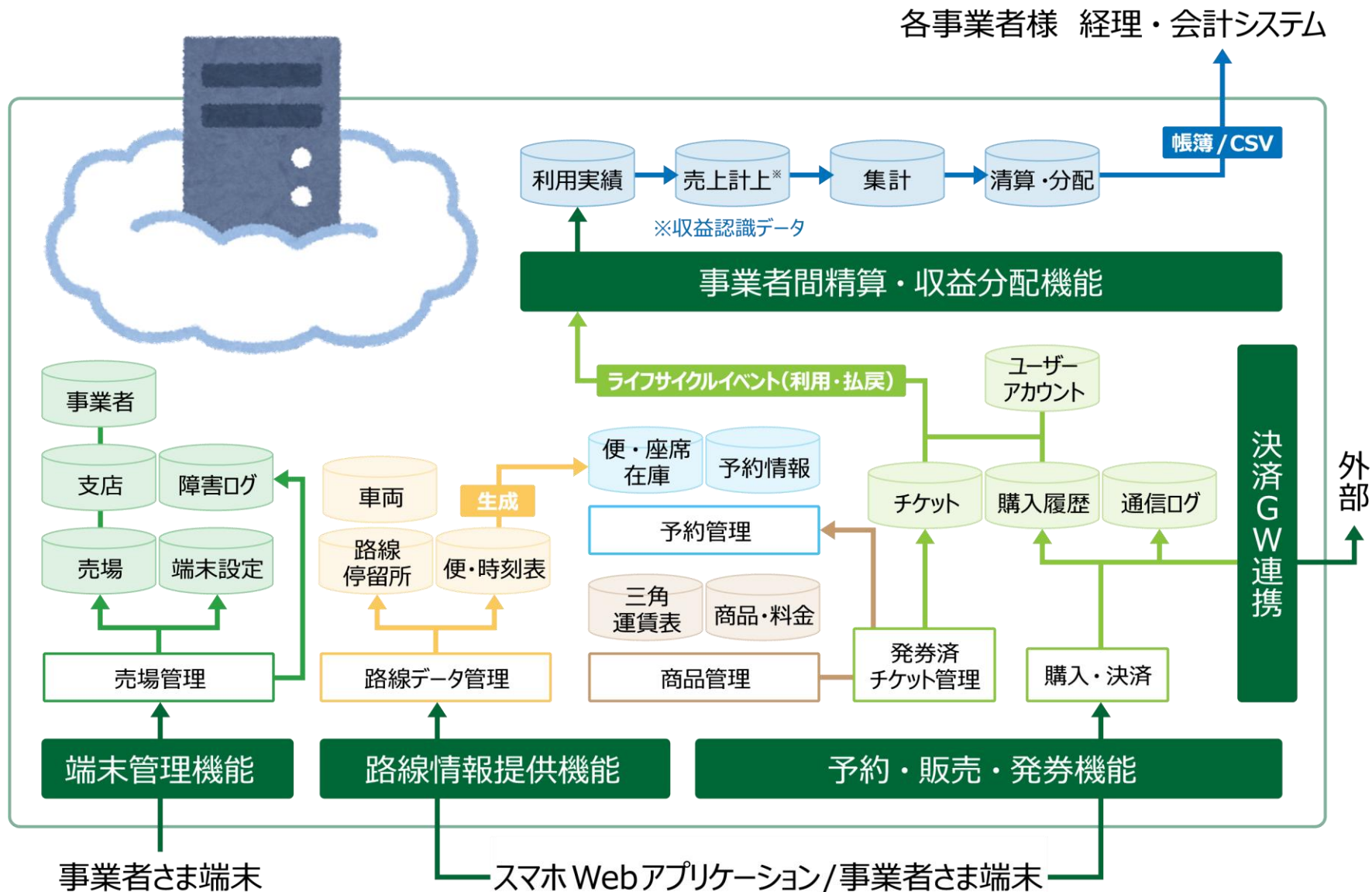
ALTAIRチケットサービス(2020年12月リリース)



- JRバス関東(セット券)
- JR北海道バス(周遊券)
- 京浜急行バス(在庫管理)
- 仙台Maas(周遊券等)
- 函館Maas(周遊券等)
- 他

導入路線数：99路線

アルタイトル=オールインワンの販売基幹系システム



2022 年 11 月 18 日

スルッとKANSAI協議会
ウェルネット株式会社

QRコードを活用したデジタル乗車券の開発着手について

スルッと KANSAI 協議会では、QR コードを活用したデジタル乗車券（以下「QR コード 乗車券」といいます。）をお客様のスマートフォンで購入し、チケットレスでご乗車いただけるサービスを2024 年春（予定）に開始すべく、ウェルネット株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長：宮澤 一洋）とともにシステムの開発に着手いたしました。スルッと KANSAI 協議会では、2004 年より後払い式の IC カード乗車券「PiTaPa」を導入し、その後交通系 IC カード乗車券の全国相互利用への対応により、便利に鉄道・バスをご利用いただける環境を整備してまいりました。今回は IC カード化されていない企画乗車券や普通乗車券等を QR コード乗車券で発行することにより乗車券の非接触化とキャッシュレス化を進め、利便性の高いサービスの実現を進めていきます。また本施策をスルッと KANSAI 協議会として取り組むことで協議会加盟事業者のネットワークを生かした広域的な QR コード乗車券サービスを多くのお客様が利用できるように取り組んでまいります。これまでの IC カード乗車券に QR コード乗車券をラインナップに加え、ますます便利になるスルッと KANSAI 協議会のサービスにどうぞご期待ください。（後略）

～ 事業者のデジタルシフトをシームレスに支援 ～

600 万件 / 月間決済

紙請求書発行

開発済



支払秘書
WELLNET マネー

スマホ決済
電子マネー・プリペイド

開発済



ekaiin.com

決済機能付き
会員管理ソリューション

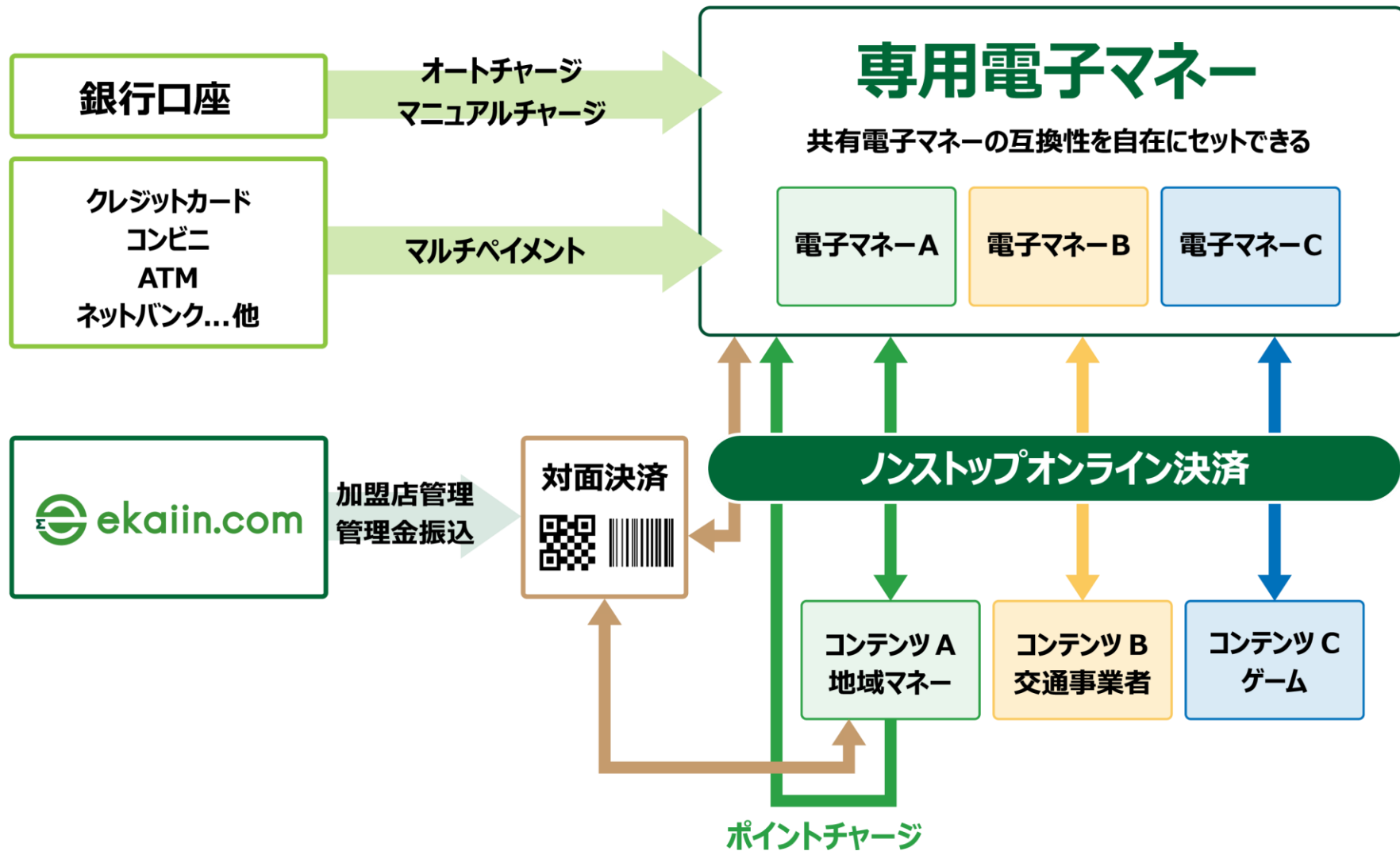
開発中

しまえーる

しまえーる

適格インボイス対応
電子請求

企業の「決済内製化」ニーズ支援ソリューション



総額2.2億円のウェルネット基金

北海道内高専生610名に7,200万円支援



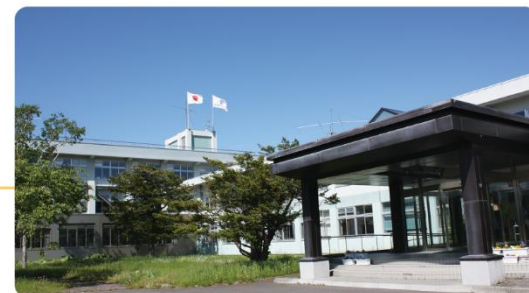
苫小牧工業
高等専門学校



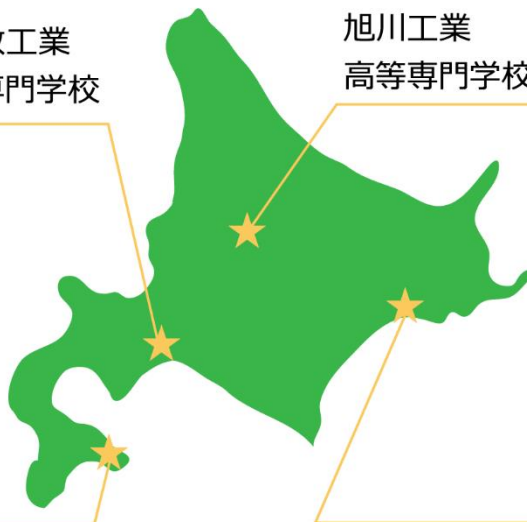
旭川工業
高等専門学校



函館工業
高等専門学校



釧路工業
高等専門学校



スピードスケート選手の夢を支援



スピードスケート
山田将矢選手



- ・本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集、投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- ・本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- ・本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社は いかなる場合においてもその責任を負いません。